

## ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2004年2月3日

### 2004年1月31日現在

2004年1月のノースダコタ州の気象は、気温が多少穏やかであった2003年12月の気象と打って変わり、北極圏の気象が南下した様な状態であった。気温は平年を下回り、北風が吹きまくった。

最低気温は凡そマイナス30度前後に下がり、最高気温は30～40度F程度であった。1月下旬に特に気温が下がった。

降雪は平年以上であり、1月末のSnow coverは、全州平均で凡そ14.0インチ(12月は7.4インチであった)を多少下回る程度と良好である。昨年同期では2.7インチであった。1997年が17.5インチであり、それ以来の良好な積雪量であり、この状態が続けば、春の播種前に十分な土壌水分が期待出来る。北中央地区(NC)の降雪量が最も多く平均23.6インチ、続いて北西地区(NW)が21.2インチと報告された。最も少ない地区は南西地区(SW)で7.0インチであった。

2004年1月USDA発表小麦作付面積、収穫面積、単位収量及び生産量：

### 2001年産～2003年産春小麦の作付面積及び収穫面積

Crop	Area Planted (1,000 acres)			Area Harvested (1,000 acres)		
	2001	2002	2003	2001	2002	2003
Wheat						
Spring W.	7,100	6,900	6,500	6,900	5,900	6,400
US Total	15,609	15,714	13,840	14,549	13,463	13,429
Durum W.	2,200	2,100	2,000	2,100	1,950	1,980
US Total	2,910	2,909	2,915	2,789	2,703	2,869

### 2001年産～2003年産春小麦の単位収量及び生産量

Crop	Yield (bushels/acre)			Production (1,000 bushels)		
	2001	2002	2003	2001	2002	2003
Wheat						
Spring W.	34.0	28.0	39.5	234,600	165,200	252,800
USA	35.2	29.3	39.7	512,008	393,949	532,820
Durum W.	26.0	25.0	29.5	54,600	48,750	58,410
USA	30.0	29.4	33.7	83,5566	79,450	96,637

当該作柄レポートへのご質問・ご意見は下記宛てにお願い致します。

小川正晃：E-mail [ogawa.max@omicnet.com](mailto:ogawa.max@omicnet.com)